

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		-	-	-
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・台風19号による甚大な被害に対する復興支援で、特需が起きている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・インターネットサービスは他社からの乗換えも含め、安定して新規加入が獲得できている。テレビサービスは動画サイトの影響もあり、横ばいである。
		その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は、葬儀、墓じまい、仏壇の処分が多かった。また、1人暮らしの高齢者からの相談も多く受けている。
		一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・前月からの消費税増税の反動と台風19号による水害等の被災で、商品の動きが余り良くない。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・実質、新規の客は増えておらず、顧客の動員力、客単価が上がるかどうかで売上は左右されている。台風19号による災害、消費税増税、今月の暖冬の流れ等から、冬物商戦は苦戦を強いられている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・消費税増税、キャッシュレスポイント還元対策で、売上は堅調なものの経費も増加している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・消費税増税後、それほど販売量が変わらず、良かったと思っている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月も台風19号災害関係で、ボランティアの方の動きが若干残っていたようで、少ない分を多少カバーしている状態が、ずっと変わっていない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・当店では季節商材と映像関連商材の販売が好調に推移している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備共に、例年並みである。車両販売は、消費税増税の影響がくっきりと表れている。本来11月中旬以降は、スタッドレスタイヤの問合せが多いが、増税前に購入した客が多いのか、今年に限っては非常に問合せが少ない。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・天気予報に雪マークが出始め、季節商材の動きは好調になってきているものの、客の様子から見た全体的な消費は消費税増税後の買い控えからまだ回復しているとは言えない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・台風19号の影響で10月にキャンセルが続いたものの、中止となった旅行を11月に延期する傾向がみられる。ただし、10月から延期して増えた分と台風の影響で11月の予約が減った分ですらプラスマイナスゼロ、例年並みの入込となっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・今月は9～10月と比べて1日の単価は上がっているが、全体的に低調である。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・台風19号の水害による解約等の影響はそれほど多くなかったものの、節約志向が一段と強まったため、保留や解約が出ている。
		ゴルフ場（経営者）	それ以外	・今月は天候が安定し、クローズが多かった前月の売上減は取り返せないが、来場者数、売上は良好である。ゴルフ場は、お天気商売だと感じる。
		その他レジャー施設「ボウリング場」（経営者）	来客数の動き	・前月は台風19号の影響で営業時間を短縮したり、予約キャンセルがあった。今月はキャンセルされた予約が、再び入ったりしているが、全体的にみると余り変わらない。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・依然として依頼数は多く、下請に発注する量も変わらずに多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・恒例の1日限りの秋祭りへの人出は多少あったが、それ以外は全くの開散続きである。木枯らしが余計に寒く感じられる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・11～12月は、スポーツ用品店でも冬物商材を扱っている店は良いが、扱っていない店は、本当に何を売ったら良いのかという月なので、悪くなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・台風19号の影響が大きく、年内は引きずっていきそうである。	
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・消費税増税後から、客の買物動向は低下している。	

	スーパー（経営者）	来客数の動き	・25日時点で、売上は前年比17%減である。前年はイベントの売上が120万円程度だったが、今年は100万円ほどで、月末までにどのくらい持ち返すかである。来客数は台風19号による水災の影響もあり、同8%減である。今後1年は様子見ではないか。ただし、被災地区でも早い人は、自宅の改修をしている。保険査定も確定し、振り込みもされているようである。リサイクル業者から、「自宅再建の仕事が徐々に入ってきて、出勤は朝6時から社員総出で、手作業でごみの分別をしている」と聞いている。	
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・台風19号による水害で閉店していた周辺店舗が復旧してきたため、やや悪くなっている。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・顧客も含めた高齢化や人口減少により、来客数を確保することすらままならない。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税後の反動減があり、新車、中古車、用品販売いずれも落ち込んでいる。	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・台風19号による災害や被災者への配慮から、いまだに自粛機運があるようである。	
	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・台風19号の影響で出足が鈍るなか、キャッシュレス還元事業関連の客足はあるが、売上に貢献するまでに至らない。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・消費税増税で冷え込んでいたところに、台風19号による水害に追い討ちされ、公務員から予約の入っていた宴会が、軒並みキャンセルになった。このダメージが、いつまでたっても取り返せないままである。	
	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・台風19号の災害が続いており、旅行者減少や旅行中止が相次いでいる。企業の社員の中にも被災者が多数出ている。企業自体が被災して業務が休止状態となったために旅行の中止や延期が発生しており、新規の旅行も発生しない状況である。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・台風19号の被害と週末の連休ごとに荒天の影響を受けたシーズンで、今月に入っても来客数の減少は続いている。また、紅葉シーズンが平年より半月以上遅れたため、行き先を変更してしまったケースもある。一方、ラグビーワールドカップ観戦の外国人が、多くはないものの訪れるという予想外の特需はあった。	
	遊園地（職員）	来客数の動き	・各種イベント、フェアなどの集客施策を実施したものの、悪天候や強風の影響を受け、3か月前よりやや悪くなっている。	
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・台風19号の被害が影響して、やや悪くなっている。	
	×	スーパー（副店長）	お客様の様子	・当店は台風19号の被災地に近く、10キロ圏内では競合店が天井の高さまで浸水し、当分営業再開の目途が立たない状況である。結果的に売上は上がっているものの、客の会話で、被災者や農地に水が浸かってしまった方などの話は本当に切実である。
	×	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・年内納期の注文がない。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、来客数の動き、競争相手の様子などいろいろな点からみている。とにかく良くない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前月から引き続き、フリー客の来店数が大きく落ち込んでいる。キャッシュレス還元事業に参加しているが、来客数の増加に大きく影響している感じはしない。しかし、キャッシュレス決済の利用は増加している。
企業動向関連	-	-	-	-
(甲信越)	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・受注はやや回復しつつあるが、資材費等の諸経費高騰により、利益率が圧迫されている。	
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月同様に、売上は何とか前年並みを保持している。目標に対してばらつきはあるものの、達成できる公算が大きい。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・年末商材だけでなく店頭販売商材の受注も、やや増加傾向である。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税後は一服感があり、受注にも若干勢いがなく、景気は停滞気味である。	

	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・米中貿易摩擦等の影響により中国経済が鈍化してきている。世界的な景気回復にはまだ時間を要すると考える。
	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・10月に引き続き、宝飾小売店舗では展示会をしても客足が伸びず苦戦している。卸売でも売れないため、展示会への委託販売がほとんどで、売上につながらない。キャッシュレス決済による5%還元策は、まだ理解されておらず、すぐに還元されるわけではないので、余り売上増の助けにはなっていない。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は米中貿易摩擦の影響で、生産減少傾向にある。一部非製造業では、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減があり、消費マインドの低下もみられる。
x	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・販売点数が徐々に落ちてきている。
x	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注案件が複数の取引先でストップしている。受注があっても、部材の納入が悪く、生産ができない状態である。
x	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・台風19号の被害の影響で、各種イベントが中止となり、自粛ムードのなか、広告出稿も減っている。
雇用 関連 (甲信越)	-	-	-
	-	-	-
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・商業施設の集客や売上状況も確認しているが、前年割れしている。年末年始の派遣依頼の予定はあるものの、イベント実施に結論が出ていないため、人数調整の感じである。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人募集をしている企業は多いが、求人誌や求人情報紙などに積極的に募集広告を掲載する企業は、ここに来て極端に減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・中国向けの出荷の落ち込みで、製造業求人が大幅に減少している。運輸、建設等の人手不足分野では、相変わらず採用意欲は高い。しかし、他の職種や全体を通しての求人数は確実に減少してきている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・台風19号の影響で、生産調整をしている会社や休業中の会社もあるため、やや悪くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月と比べて、大幅に減少している。正社員求人の割合も低下傾向であり、前年度より明らかに失速している。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・中国景気の影響を受ける製造業では、一部リストラを始めた企業がある。
	x	-	-